

【出席者】 (挨拶・議長) 副市長

## 大仙市都市計画マスタープラン策定委員会名簿

No	氏名	職名等
1	山口邦雄	秋田県立大学 システム科学技術学部 准教授 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">委員長</span>
2	浜岡 正	国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所 副所長(道路) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">欠席</span>
3	有明滋夫	秋田県仙北地域振興局建設部 次長
4	山本 茂	秋田県大仙警察署 署長
5	伊藤辰雄	大曲地域協議会 会長
6	鈴木和栄	神岡地域協議会 会長
7	工藤淳志	西仙北地域協議会 会長
8	鈴木貞一	協和地域協議会 会長
9	伊藤辰郎	南外地域協議会 会長
10	佐藤力哉	仙北地域協議会 会長
11	傳農富士夫	中仙地域協議会 会長
12	加藤 進	太田地域協議会 会長
13	後藤峻久雄	大仙市東部農業委員会 会長
14	湊 陸和	東日本旅客鉄道株式会社大曲駅 駅長
15	小松喜美子	大仙市男女共同参画審議会 会長
16	有明秀太郎	大仙市社会福祉協議会 会長
17	塩谷國太郎	大曲商工会議所 専務理事
18	佐藤賢治	大仙市地区商工会合併推進協議会 会長 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">欠席</span>
19	柴田勝三	大仙市建設部 部長

(敬称略)

【オブザーバー】 総務部長、企画部長、市民生活部長、健康福祉部長、農林商工部長  
総合政策課長 (幹事会幹事長)

# 第1回策定委員会 議事録要旨

(平成19年12月3日(月) 14時~16時:市役所本庁舎3階大会議室)

## ■ 副市長あいさつ

- 時代の変革期にあつて、地域特性を活かしたマスタープランの策定に向けて、様々な視点から意見を頂きたい。

## ■ 委員長選出

- 委員長 山口邦雄(秋田県立大学システム科学技術学部准教授)
- 職務代理者 浜岡 正(国交省湯沢河川国道事務所副所長) ※欠席のため、事務局より連絡

## ■ 委員長挨拶

- 大仙市の歴史や特性を活かすとともにみなさんで知恵を出し合つてマスタープランを策定していきたい。総花的でなく重点を絞つた検討を行つていきたい。

## ■ 委員会の運営に関する事項

- 本委員会は、広く市民に情報を伝えるため、公開とする提案がなされた。
- 資料の公開も含めて事務局が庁内で調整し、結果を報告する。

## ■ 議 事

### (1) 都市計画マスタープラン策定の進め方に関する意見

- 各地域協議会が検討を進めている「地域の課題とその対策」の内容を把握し、必要な事項はマスタープランに反映する。(詳細は事務局が検討、調整を行う)
- 商工会議所では、若手で構成される「まちづくり委員会」を開催しているとの情報あり。必要に応じて意見交換を行う。
- 旧市町村の総合計画や都市計画マスタープランは、大仙市総合計画に反映されているが、参考資料として取り扱う。
- 子どもたちの意見も聴けるワークショップ開催なども考えていく。

### (2) 都市計画マスタープランに期待すること

#### <個性的なプラン>

- 大仙市の特性を活かした個性的な計画にしたい。
- 地域のプラス要素を探り、これを活かした計画にしたい。

#### <地域格差の是正>

- 大仙市全体に恩恵がある計画にしたい。(中心部や市街地だけに焦点をあてた計画ではなく、農村集落等を含めた一体的な都市づくり、都市と農村の共存を考えていく)
- 地域間格差が危惧されるため、是正策を考えていきたい。(大曲地域だけでなく周辺地域も含めた活性化を考えていく)

#### <広域連携>

- 周辺都市との広域連携を考慮した計画にしたい。(例えば、協和地域は秋田市との流動も多い。周辺市町の総合計画、都市計画マスタープラン等を参考とし、必要に応じて意見交換、調整を図っていくことも検討していく)
- 今後、更なる市町村合併や道州制の導入も考えられる。このようなことも視野に入れるべき。
- 都市計画以外の分野間連携も必要(福祉、産業分野などとの連携)

#### <実現可能な計画>

- 理想的な都市づくりはよいが、経済情勢を考慮すると実現困難ではないか。(コストを視野に入れた実現可能な計画の立案が必要)

### (3) 都市計画マスタープランの検討課題

#### <20年後の時代を読む>

- 都市づくりを考えるうえでは、将来の社会・経済情勢を先読みできるか否かが重要になる。

#### <高齢者生活環境の向上>

- 高齢者にやさしいまちづくりが不可欠である。
- 高齢者の生活環境の向上のため、買い物や通院などの交通手段の確保や交通インフラ整備、冬期の除雪対策などが重要課題となる。

#### <産業の振興>

- 地域の産業振興、雇用機会の確保策と合わせた都市づくりが重要である。（農林業、地場産業、商業など）
- 定住促進のためには生活基盤整備だけでなく、就労環境の創出が不可欠である。
- 花火を活かした観光振興、農業を活かしたグリーンツーリズムなども検討していくべき。
- 観光振興は、JRをはじめとする事業者等との連携も有効である。

#### <農業振興・農村集落のあり方>

- これからの農村はどうなるのか議論してはどうか。農村が良くならなければ、大仙市全体が良くなるのではないかと考える。
- 水田の荒廃などの問題も生じている。

#### <暮らしやすさ>

- 女性が住みやすいまち、女性が活かされるまちづくりを考えていきたい。
- 少子化が進んでいるため、子供を産みやすい、育てやすい環境づくりも不可欠である。

### ■ 今後の予定

- 3月に第2回策定委員会を開催する。日時は追って事務局より連絡する。